

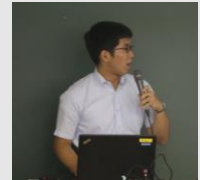
第58回 インナー大会説明会

6月3日(日)中央大学 多摩キャンパスにて開催いたしました『第58回インナー大会説明会』では、各部門の説明をはじめ、日経ビジネス活用法や大会OBの方による基調講演、昨年度プレゼン部門 最優秀賞受賞チームによるプレゼンテーション実演・インタビューなどを実施いたしました。

そこで、今回は説明会に参加いただいた皆様に特に好評だった2016年大会OB 中津川様による『インナー大会出場経験は、こう活きた』と昨年度最優秀賞 受賞チーム 創価大学 Re♡BBONの皆様からのインタビュー内容を一部ご紹介させていただきます。当日ご参加いただけなかった皆様も、是非大会に参加する際の参考としていただけたら幸いです。

第58回 インナー大会実行委員会一同

2016年インナー大会 討論部門OB 中央大学経済学部卒 中津川 琢朗様 (基調講演) 『インナー大会出場経験は、こう活きた』 ※内容一部ご紹介



インナー大会で身に付いたスキルとして…

1・情報収集能力 2・文書作成スキル 3・渉外力及び社会的マナー

1の情報収集能力は、膨大な情報の中からいかに必要な情報や整合性のとれた情報を取捨選択するかが大事。大きい枠組みの中から、なにが必要なのか？をどんどん深堀し、取捨選択を繰り返すことで最終的に、具体的な課題や詳細が見えてくる。このことは後の就職活動にもつながっており、現在約580万あるといわれている日本企業の中から自分に合った企業を探すという意味で非常に役立った。情報収集をできていればこそ自身の選択肢も増え、それに制限をかけるフィルターとなるものも増える。

2の文書作成スキルは、インナー大会の本番までにお世話になる専門家の方やフィールドワークでご協力いただく企業、団体とのやり取りでは、アルバイト式でもなく学生式でもなく、正式なフォーマットを求められる。経験の中で身に付いた文書作成スキルは就職活動時に人事の方とのやり取りに活かされ、新人研修の際には基礎がわかっていればこそより高いところを目指すことができ、作法だけではない具体的な対応にも目を向けられるようになった。

3の渉外力及び社会的マナーは、大会参加をきっかけに相手チームや企業の方とのやり取りの中で、敬語の使い方や対外的なマナーなどを身につけるきっかけになった。これは就職活動時に適切なアピールをするための基礎となる。また、大会を通じて身に付くスキルや経験がさらに素晴らしいものになるよう、明確な目的を持って参加することが非常に大事になってくると考えている。

2017年インナー大会プレゼン部門 最優秀賞創価大学 経済学部 西浦ゼミ 『Re♡BBON』 ※インタビュー内容一部ご紹介



Q：本番に向けた練習は？

プレゼンテーション資料の作成については、自分達の設定したテーマが専門性の高いテーマ（子宮頸がん検診の受診促進）だったので、現状分析をしっかりと行い、誰が聞いてもわかりやすいという点を意識しました。

資料作成の途中段階のものを自分達だけではなく研究テーマについて知らない人に見ていただき、意見を聞くことで、はじめて聞く人にも理解できる資料作りを心掛けました。また、アンケート調査やフィールドワークの部分は熱意がはっきりと伝わるように工夫しました。

プレゼンターに関しては、資料提出後本番まで1週間ほど時間がある中で、まずスクリプトを完璧に覚えました。また、声の抑揚や発表中のジャスチャーなどを意識することで、当日のオブザーバーにもわかりやすく伝わるように工夫しました。さいごに、いきなり本番での発表は緊張してしまうことが予想されたので、自分達で人を集め発表の場を事前に用意し、本番に向けて調整しました。

質疑応答に関しては、想定問答集150問ほど作成し、当日に向けて対策いたしました。問答集作成時は、はじめてPPTの資料や発表を見ていただいた人たちから出た質問などを参考に、その質問に対して回答できるようにしました。なかでも一番難しい“質問者の意図を捉える”という点は、何度も人を入れ替えて練習しました。また、質問があった際には、端的に・簡潔にこたえられるかという点が大事になってくると思います。

第58回 インナー大会説明会 当日の様子

